

今朝は風の吹きすさむ寒い天気でした。その中を自転車や徒歩で登校してくる姿をみて、とてもたくましさを感じました。また、体育館への入場は、どの学年も立派でした。

さて、先週金曜日のお昼休みには、第2回トークイベントとして、オールズバーグ作「急行北極号」を英語でストーリーテリング（話し手と聞き手双方向の読み聞かせ）を行いました。クリスマスイブの夜、サンタさんを信じる少年トッキーの望みは、サンタさんが乗るトナカイのそりの鈴の音を聴くこと。ところが聞こえたのは、機関車が家の前で停車する音。その後トッキーは急行北極号にのってサンタさんが暮らす北極への列車旅に出かけます。サンタさんの国にはたくさんのサンタさんの仲間達が暮らしており、クリスマスに届けるプレゼントの工場がたくさんありました。そしてトッキーはとうとうサンタさんと出会います。サンタさんは急行北極号に乗り合わせた子供たちから一人だけご指名します。それがトッキーでした。サンタさんから今年のプレゼント第1号としてたずねられたトッキーは、サンタさんに1つお願いをします。それがトナカイの鈴。素敵なお音がしました。列車で帰る中、トッキーが目覚めると、あるはずのポケットの中の鈴がない。ポケットに穴が開いており、どこかに落としてしまったのでした。ショックでうなだれ、夜も眠れず、クリスマスの朝を迎えます。クリスマスツリーの後ろに1つ小さな箱を見つけます。そこに入っていたのは？ 1通の手紙となくした鈴。『そりの中に落ちていたよ。ポケットの穴はぬっておいたほうがいいよ。⊕』と書かれていました。妹にも聴かせるとすばらしい鈴の音を聴くことができました。トッキーも今や大人。友達も妹も今はあの鈴の音を聴くことはできません。トッキー（2年担任の〇〇先生が演じてくれましたね）、君は今も聞こえるかい？ きっとトッキーだけ聞こえるすてきな音。みなさんはどうでしょうか。

トークイベントの最後に私は集まったみなさんに次のことばを話して終わりにしました。それは

If you believe Santa, Santa is always in your mind.

（もしみなさんがサンタさんを信じるのなら、サンタさんはいつもみなさんの心の中にいる。）

Santa の部分を別のことばに置き換えてみることはできないでしょうか。Santa の部分を、おうちの方、友達、先生方にしたらどうでしょうか。

『もし先生方が生徒を信じているなら、先生方の心の中には、いつも、生徒

のみなさんがいます。『もし生徒のみなさんが先生方を信じているなら、みなさんの心の中に、いつも先生方はいます。』

鈴の音は「聞こえない」かもしれません、それは「聴こうと」していないからかもしれません。英語で hear は聞こえる。聴くは listen to 聴く先を示す to があります。矢印です。私たちは心に矢印をもって、鈴の音と同じように相手の話をきちんと聴こうとしているのでしょうか。お互いに聴きあうことをとおして、気持ちの行き違いでトラブルになることもあるかもしれません。私も失敗をしてしまうこともあります。どうすればよりよかったのかと反省します。きっと、よりよくしようとする気持ちを起こさせるきっかけのスイッチが、鈴なのかもしれません。

私は、そんなメッセージを伝えたくて、このトークイベントに、この本を選びました。そしてそんなメッセージを伝えたくて、この4月から学校の教育目標にそって学校を今より、よりよくしていこうと進めてきました。

さて、みなさんは香取中学校の学校教育目標を知っています？

「人とつながり、かかわり、学び合う生徒の育成」

授業や行事、部活動など、すべての学校の教育活動の基本は、この学校教育目標をもとになるよう行ってきました。みなさんはどうだったでしょうか。昨年まで難しかった行事や大会等が通常に近い形で実施でき、それぞれの場所でみなさんは力を発揮し、成果も収めてきました。改めて、4月から12月までの8ヶ月間を振り返り、1月、目標をもって新たな1年を迎えてください。では、なぜ目標なのでしょう？ それは目指すものがないと、私たちは元気が出ません。勇気が出ません。一歩踏み出すことはできません。目指すその先を、自分なりに、どんな些細なものでもかまいません。その目指す先が「未来」につながります。新年の抱負、英語では New Year's Resolution といいます。ぜひ自分の中で心に決めて、1月6日の全校集会で会いましょう。

そして、冬休み中ですが、年末年始があります。生活のリズムを崩すと免疫力が下がり、病気にかかりやすくなります。生活のリズムを保ち、感染症対策もして大切な冬休みを過ごしてください。そして、感染症はなりたくなる人は誰もいません。私たちはその時どう対応するか、その言動ひとつひとつが、その人となりがでます。私たちは感染症とともに生活していくことで、私たちの人間性、倫理観やモラルが試されると思ってみてください。みなさん、そして私たちの一人一人が今日よりよりよい生き方ができるよう、互いに切磋琢磨して新年を迎えましょう。

私の話は以上です。